

－ 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。－

「使用上の注意」改訂のご案内

2023年5月

アドレナリン注射液

アドレナリン注0.1%シリンジ「テルモ」

Adrenaline Injection 0.1% Syringe

製造販売元：テルモ株式会社

平素より格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、弊社医療用医薬品『アドレナリン注 0.1%シリンジ「テルモ」』の電子添文を改訂致しましたので、ご案内申し上げます。

また、「医療用医薬品の添付文書等の記載要領について」(令和3年6月11日付(令和4年7月21日一部改正)薬生発0611第1号厚生労働省医薬・生活衛生局長通知)に基づく記載様式の変更も行いました旨、併せてご案内申し上げます。

<改訂内容>(_____ : 改訂箇所)

改訂後	改訂前																								
<p>10. 相互作用 (略)</p> <p>10.2 併用注意 (併用に注意すること)</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr><tr><td>非選択性β遮断薬 プロプラノロール カルベジロール 等</td><td>(1) 相互の薬剤の効果が減弱する。 (2) 血圧上昇、徐脈があらわれることがある。</td><td>(1) これらの薬剤のβ遮断作用により本剤の作用が抑制される。また、本剤のβ刺激作用により、これらの薬剤の作用が抑制される。 (2) これらの薬剤のβ遮断作用により、本剤のα刺激作用が優位になると考えられている。</td></tr><tr><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	(略)	(略)	(略)	非選択性β遮断薬 プロプラノロール カルベジロール 等	(1) 相互の薬剤の効果が減弱する。 (2) 血圧上昇、徐脈があらわれることがある。	(1) これらの薬剤のβ遮断作用により本剤の作用が抑制される。また、本剤のβ刺激作用により、これらの薬剤の作用が抑制される。 (2) これらの薬剤のβ遮断作用により、本剤のα刺激作用が優位になると考えられている。	(略)	(略)	(略)	<p>3. 相互作用 (略)</p> <p>(2) 併用注意 (併用に注意すること)</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr><tr><td>非選択性β遮断薬 プロプラノロール 等</td><td>血圧上昇、徐脈があらわれることがある。</td><td>β遮断作用により、本剤のα刺激作用が優位になると考えられている。</td></tr><tr><td>(略)</td><td>(略)</td><td>(略)</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	(略)	(略)	(略)	非選択性β遮断薬 プロプラノロール 等	血圧上昇、徐脈があらわれることがある。	β遮断作用により、本剤のα刺激作用が優位になると考えられている。	(略)	(略)	(略)
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																							
(略)	(略)	(略)																							
非選択性β遮断薬 プロプラノロール カルベジロール 等	(1) 相互の薬剤の効果が減弱する。 (2) 血圧上昇、徐脈があらわれることがある。	(1) これらの薬剤のβ遮断作用により本剤の作用が抑制される。また、本剤のβ刺激作用により、これらの薬剤の作用が抑制される。 (2) これらの薬剤のβ遮断作用により、本剤のα刺激作用が優位になると考えられている。																							
(略)	(略)	(略)																							
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																							
(略)	(略)	(略)																							
非選択性β遮断薬 プロプラノロール 等	血圧上昇、徐脈があらわれることがある。	β遮断作用により、本剤のα刺激作用が優位になると考えられている。																							
(略)	(略)	(略)																							

<改訂理由>：自主改訂

10.2 併用注意 (併用に注意すること)

先発医薬品の使用上の注意改訂情報に基づき、本項を改訂いたしました。

ご使用に際しましては、電子添文をご参照くださいますようお願い申し上げます。

GS1 バーコード



今般の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行「DRUG SAFETY UPDATE No.317 (2023年5月)」に掲載されます。